

【研究概要】

高齢化社会を迎え、重要視されている認知症及び軽度認知障害に対して、患者背景、各認知症及び軽度認知障害の遺伝子多型、炎症関連や神経可塑関連因子など血中バイオマーカー、定量脳波解析、脳画像解析に基づく個人に適した認知症及び軽度認知障害の治療法、すなわち“認知症及び軽度認知障害個別化治療アルゴリズム”を作成する事を目的とする。尚、本研究は2018年12月10日に変更申請で承認された整理番号（2013705（旧番号：ヒ1303-1））の研究内容から対象疾患を各認知症及び軽度認知障害に変更したものである。